

## 第 2 章 日本語入力

|                         |    |
|-------------------------|----|
| 1. A T O K 6 による日本語入力   | 22 |
| (1) 日本語を入力するための方法       | 22 |
| ◆ ローマ字入力の設定             | 22 |
| ◆ かな入力の設定               | 22 |
| (2) 日本語を入力する場合によく使用するキー | 23 |
| ◆ かな入力の場合 (カナキーロックの状態)  | 23 |
| ◆ ローマ字入力の場合             | 24 |
| (3) 日本語入力、漢字変換に必要なキー操作  | 25 |
| ① 基本操作                  | 25 |
| ② 応用操作                  | 26 |
| (4) 日本語入力操作例            | 27 |
| 2. 松茸 V 2 による日本語入力      | 30 |
| (1) 日本語を入力するための方法       | 30 |
| ◆ ローマ字入力の設定             | 30 |
| ◆ かな入力の設定               | 30 |
| (2) 日本語を入力する場合によく使用するキー | 31 |
| ◆ かな入力の場合               | 31 |
| ◆ ローマ字入力の場合             | 32 |
| (3) 日本語入力、漢字変換に必要なキー操作  | 33 |
| ① 基本操作                  | 33 |
| ② 応用操作                  | 34 |
| (4) 日本語入力操作例            | 35 |

## 第2章 日本語入力編

最近の市販ソフトの日本語入力は、本体の中にその機能を持っているわけではなく別ソフトが日本語入力の部分だけを受け持つような構成になっています。

従って、標準で付いてくる日本語入力が不慣れで使いにくい場合には、もし他のワープロソフトで使い慣れている日本語入力の方法があれば、それが使えるように自由に変更できるようになっています。自動車に例えると、標準で付いてくるタイヤやハンドル、オーディオシステムなどが気に入らない場合には自分の好みのものと取り替える感覚に似ています。

L o t u s 1 - 2 - 3 も例外ではなく、何種類かの日本語入力方式を選ぶ事ができます。標準で付いてくるのは「松茸 V 2」という名前の日本語入力方式で「松」という名前のワープロソフトで使われている方式です。この日本語入力方式もかなり普及していますが、もう一つ「A T O K 6」という名前の日本語入力方式があります。これは、「一太郎 V e r 3」という名前のワープロソフトで使われている方式で、最も普及率が高く、一般的なものとなっています。L o t u s 1 - 2 - 3 は、この「A T O K 6」という方式にも換える事ができるので、ここではこの2つの方式

「松茸」

「A T O K 6」

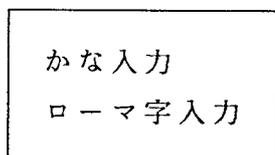
について、日本語入力の方法、キーの使い方、カタカナ変換の方法などの基本を説明します。また、L o t u s 1 - 2 - 3 は通常の状態では日本語入力ができる状態になっています。

なお、日本語入力だけを担当するソフトの事を日本語フロントエンドプロセッサ略して日本語 F E P というふうに呼びます。

## 1. A T O K 6 による日本語入力

### (1)日本語を入力するための方法

日本語を入力する方法には大きく分けて次の2通りあります。



かな入力とは、キーボードのキートップに表示してあるカナを対象とします。“あいうえお”と入力したいときは、かな表記のアイウエオのキーを押します。

ローマ字入力とは、その名の通りひらがななどをアルファベットを使いローマ字で入力します。例えば、“あいうえお”と入力するには、A、I、U、E、Oとローマ字で入力します。

どちらを選択するかは、使う人の自由ですが表計算ソフトの場合はアルファベットを入力する機会が多いのでできるだけローマ字入力を選択の方が操作は楽になります。また、特にこれからキーボードを覚えようとする場合は、26文字と字数も少なく、それだけ憶えればアルファベット、日本語のどちらにも使えるわけですから有利といえます。

しかし、ローマ字のつづりは日常生活ではほとんど使わないので、忘れてしまっている場合が多いと思います。不明な場合は付属のローマ字かな対応表を参考にしてください。

#### ◆ローマ字入力の設定

通常はそのまま入力できます。(画面右下連ローマ字漢字の表示)

か→K A      さ→S A      じゅ→ J U

ぎょう→G Y O U      しゃ→S Y A

だった→D A T T A      (促音便)

せってい→S E T T E I

#### ◆かな入力の設定

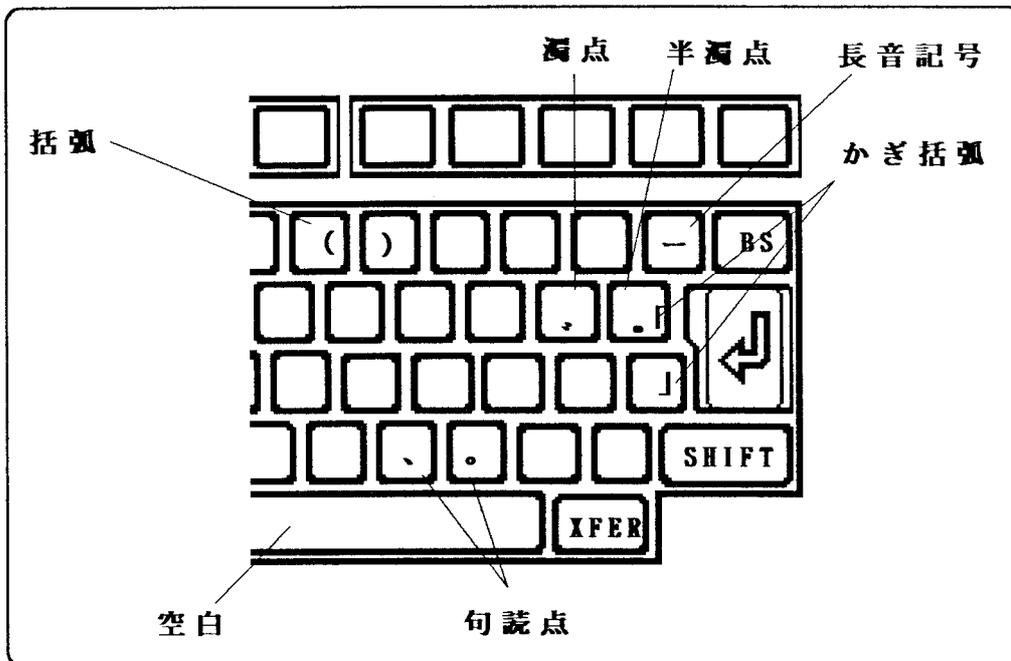
f・10 キーを押して、画面右下を連カナ漢字の表示にし、カナキーをロックして下さい。キートップに表示してあるカタカナをそのまま入力します。

“だった”などの小さいつは、シフトキーを押しながらつを押します。“きゃ”、“きゅ”、“きょ”などの小さいや、ゆ、よなども同様です。

## (2)日本語を入力する場合によく使用するキー

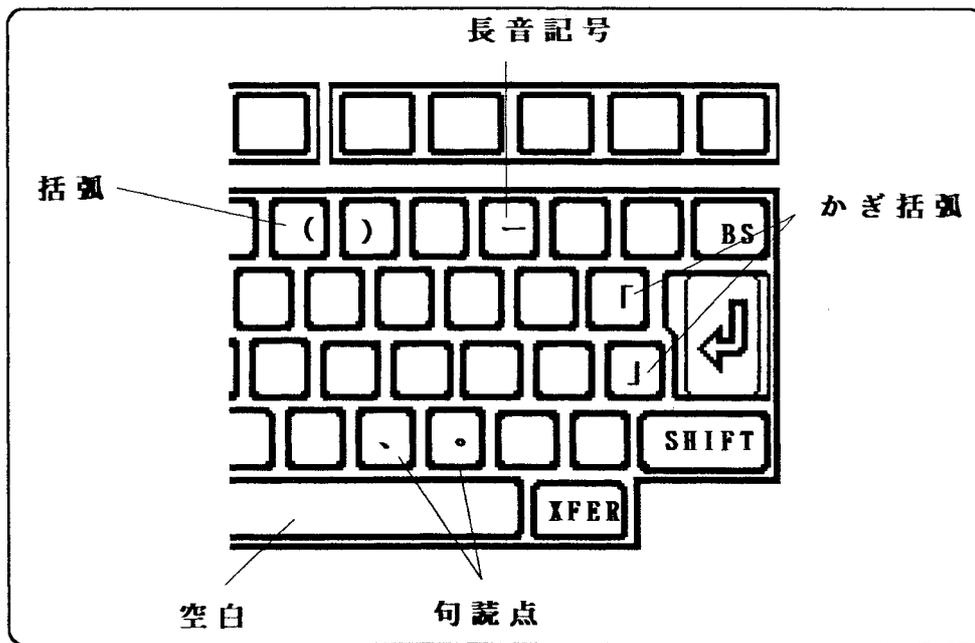
日本語の文章を作成していく上では、句読点、濁点、半濁点、長音記号、空白、記号（括弧など）などが必要です。以下にその位置を示します。

### ◆かな入力の場合（カナキーロックの状態）



- ・括弧 …… カナキーを解除し、シフトキーを押しながら
- ・かぎ括弧 …… シフトキーを押しながら
- ・句読点 …… シフトキーを押しながら
- ・空白 …… スペースキーを押す。
- ・濁点 …… だ、ばなどの濁音、たを入力してから濁点を押す。
- ・半濁点 …… ぱびふべぼなど、濁点と同じ方法
- ・長音記号 …… スーパー、コンピュータなどの伸ばす記号
- ・その他 …… %、\$、¥などの記号なども括弧の要領と同じです。

◆ローマ字入力の場合



- ・括弧 …… シフトキーを押しながら
- ・かぎ括弧 …… そのまま入力
- ・句読点 …… そのまま入力
- ・空白 …… スペースキーを押す。
- ・長音記号 …… スーパー、コンピュータなどの伸ばす記号
- ・その他 …… %、\$、¥などの記号なども括弧の要領と同じです。

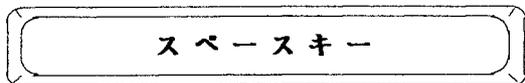
ただし、後で出てきますように「ATOK6」で日本語入力を行う場合はスペースキーは入力した文字を日本語の漢字かな混じりに変換する役目も持っていますから、連ローマ字漢字または連カナ漢字の表示が出ている状態で、入力文字を変換途中（未確定文字）の場合はスペースを空ける役目には使えません。確定作業を終了してからスペースキーにより空白を打ち込みます。

### (3)日本語入力、漢字変換に必要なキー操作

#### ①基本操作

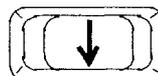
最初の段階ではこのページのキー操作で基本的な日本語入力ができます。

- ◆入力したひらがなを漢字に変換させる（変換キー）

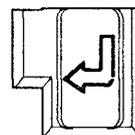


- ◆変換した漢字を確定する

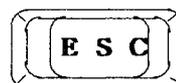
下矢印キー（部分確定）



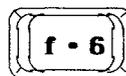
リターンキー（全文確定）



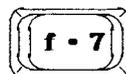
- ◆変換前の文字列の消去  
エスケープキー



- ◆入力文字を平仮名に変換



- ◆入力文字をカタカナに変換



- ◆入力文字を半角文字に変換



- ◆入力文字をアルファベットに変換  
（ローマ字入力の場合）



- ◆変換後、変換前のかなに戻す



文字の削除については変換確定後、BSキーおよびDELキーで行います。

1回目の変換で希望の漢字が出てくるとは限りません。その場合には、スペースキーを再度押します。その読みの漢字の候補が表示され、その中から希望の漢字を選択します。（同音異義語）

## ② 応用操作

基本操作だけでは、効率のよい日本語入力は難しいので慣れてきたらこのページのキー操作を取り入れるようにします。

- ◆ 変換途中で文節を短く区切りなおす



- ◆ 変換途中で文節を長く区切りなおす



- ◆ 半角文字入力モードにする（確定作業必要）  
（解除も同じキー）

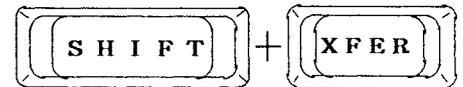


A 連ローマ字漢字の表示

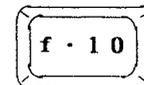
- ◆ 漢字の次候補群を表示させる



- ◆ 漢字の前候補群を表示させる



- ◆ 記号を入力するモードにする  
（♀℃☆★◎※など）



記号の表示になるまで押す

- ◆ 半角文字入力モードにする（確定作業不要）  
（未確定文字のない状態のみ）

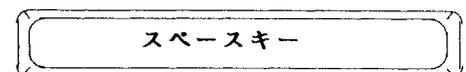


（半角英数カナの表示）

- ◆ へんやつくりの読みを入力して漢字変換  
（例えばにんべん、さんずいなど）

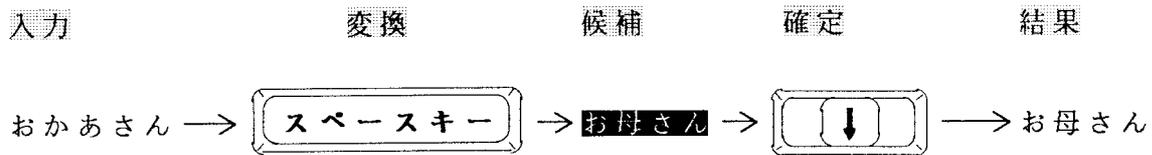


+

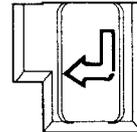


(4) 日本語入力操作例

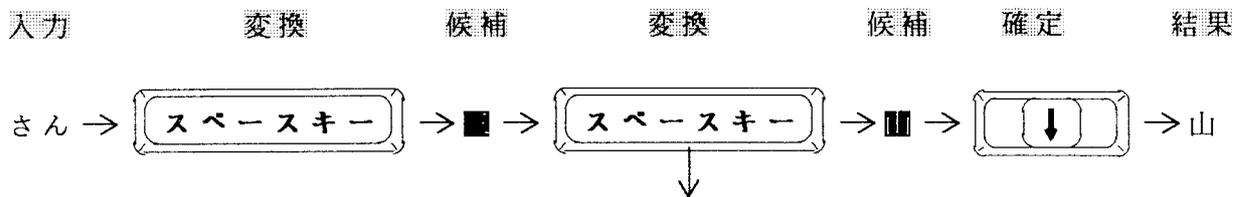
◆ 入力したひらがなを漢字に変換し、確定させる基本操作 1



または



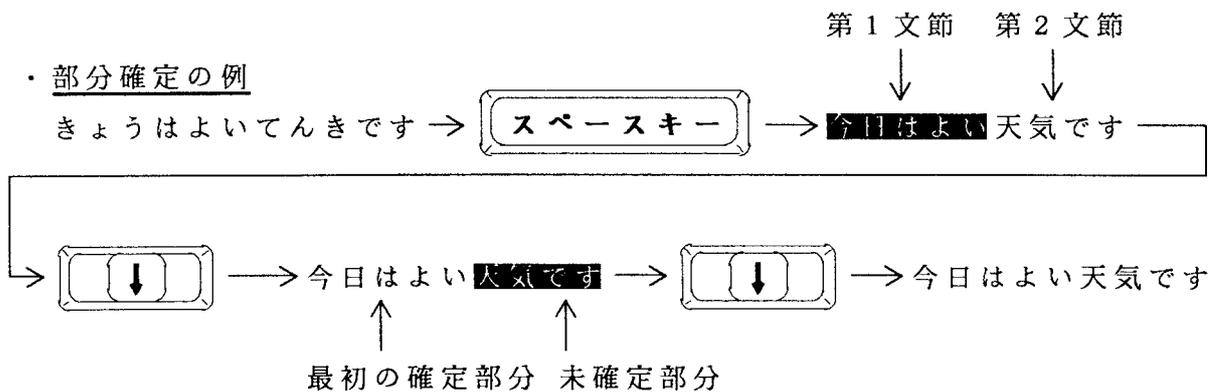
◆ 入力したひらがなを漢字に変換し、確定させる基本操作 2 (同音異義語)



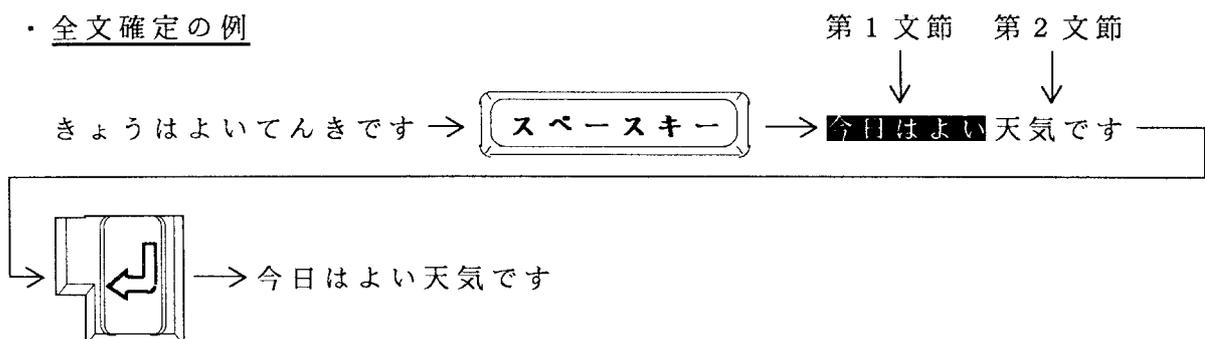
- |   |
|---|
| 1. 三 2. 山 3. 算 4. 産 5. さん 6. 3 7. 賛 8. 参 9. 酸 |
|---|
- 2 回目の変換操作で画面下に候補群が表示されます。

◆ 部分確定と全文確定の違い

・ 部分確定の例



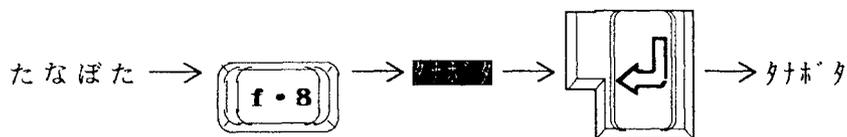
・ 全文確定の例



◆ 入力文字を全角カタカナに変換



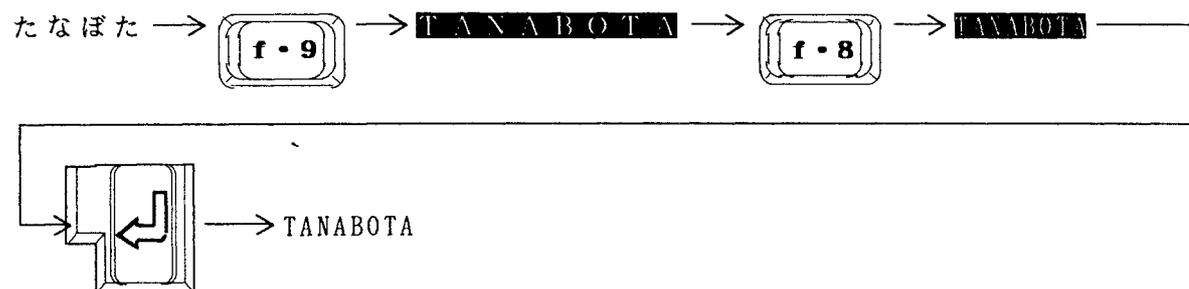
◆ 入力文字を半角カタカナに変換



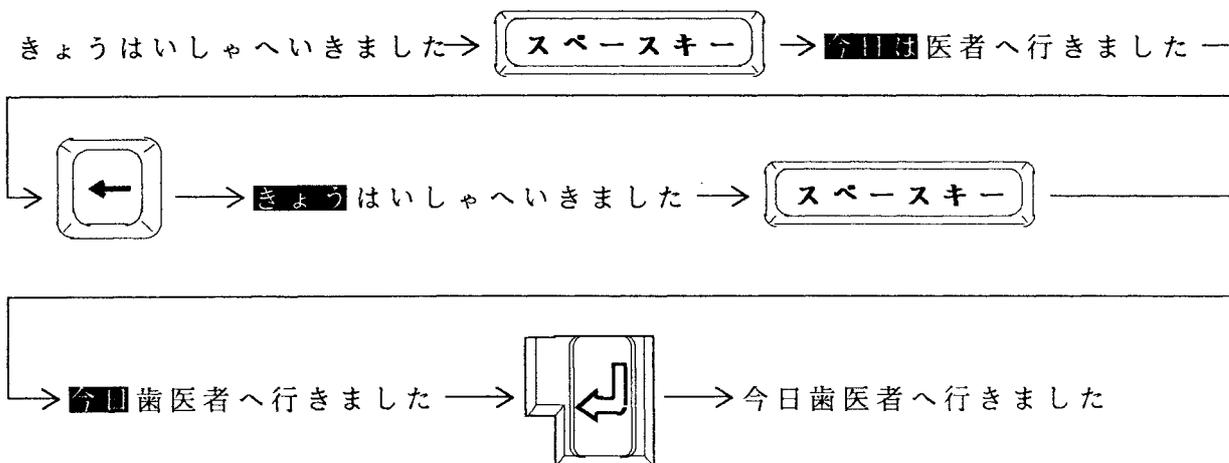
◆ 入力文字を全角アルファベットに変換（ローマ字入力の場合）



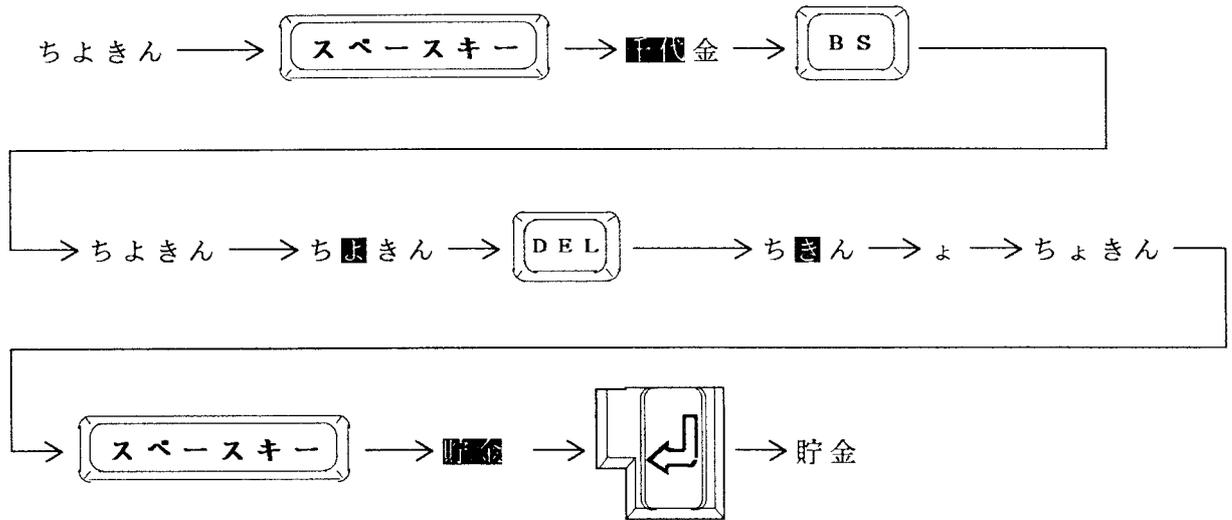
◆ 入力文字を半角アルファベットに変換（ローマ字入力の場合）



◆ 文節区切り直しの例



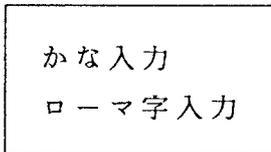
◆ 変換途中から入力時点の文字列へ戻す例（間違いの訂正など）



## 2. 松茸 V 2 による日本語入力

### (1)日本語を入力するための方法

日本語を入力する方法には大きく分けて次の2通りあります。



かな入力とは、キーボードのキートップに表示してあるカナを対象とします。“あいうえお”と入力したいときは、かな表記のアイウエオのキーを押します。

ローマ字入力とは、その名の通りひらがななどをアルファベットで入力します。例えば、“あいうえお”と入力するには、A、I、U、E、Oとローマ字で入力します。

どちらを選択するかは、使う人の自由ですが表計算ソフトの場合はアルファベットを入力する機会が多いのでできるだけローマ字入力を選択する方が操作は楽になります。また、特にこれからキーボードを覚えようとする場合は、26文字と字数も少なく、それだけ憶えればアルファベット、日本語のどちらにも使えるわけですから有利といえます。

しかし、ローマ字のつづりは日常生活ではほとんど使わないので、忘れてしまっている場合が多いと思います。不明な場合は付属のローマ字かな対応表を参考にしてください。

#### ◆ローマ字入力の設定

通常はそのまま入力できます。(画面右下 ローマ字 全角 かな の表示)

か→K A      さ→S A      じゅ→ J U

ぎょう→G Y O U      しゃ→S Y A

だった→D A T T A      (促音便)

せってい→S E T T E I

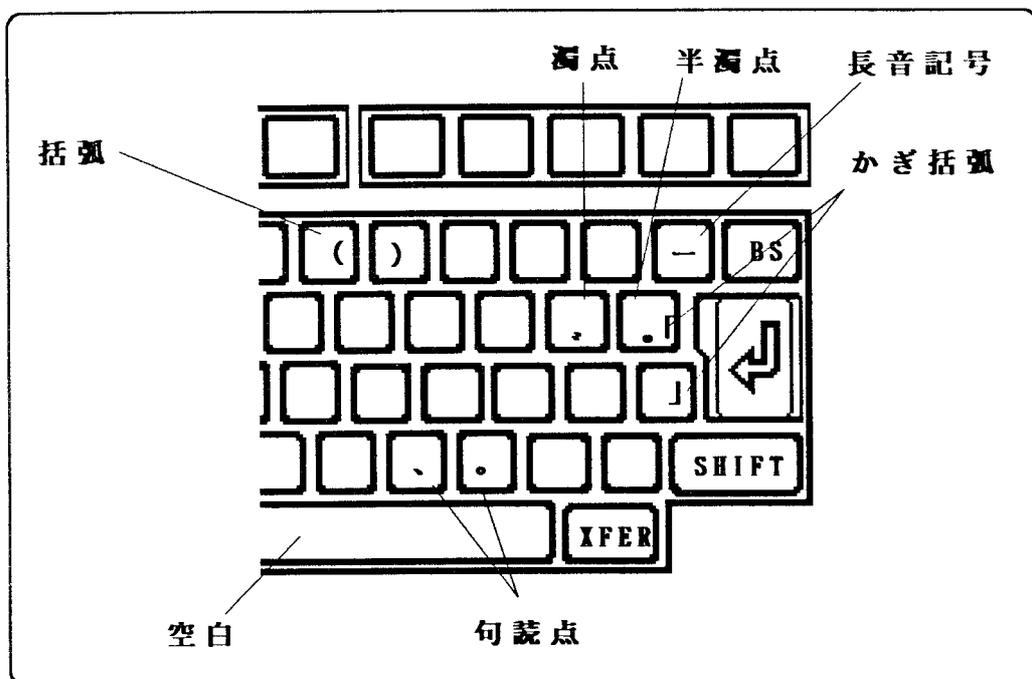
#### ◆かな入力の設定

f・8 キーを押して、画面右下のローマ字の表示を消して 全角 かな だけの表示にし、カナキーをロックして下さい。キートップに表示してあるカタカナをそのまま入力します。“だった”などの小さいつは、シフトキーを押しながらつを押します。“きゃ”、“きゅ”、“きょ”などの小さいや、ゆ、よなども同様です。

## (2)日本語を入力する場合によく使用するキー

日本語の文章を作成していく上では、句読点、濁点、半濁点、長音記号、空白、記号（括弧など）などが必要です。つぎにその位置を示します。

### ◆かな入力の場合



- ・括弧 …… カナキーを解除し、シフトキーを押しながら
- ・かぎ括弧 …… シフトキーを押しながら
- ・句読点 …… シフトキーを押しながら
- ・空白 …… スペースキーを押す。
- ・濁点 …… だ、ばなどの濁音、たを入力してから濁点を押す。
- ・半濁点 …… ぱぴふべぼなど、濁点と同じ方法
- ・長音記号 …… スーパー、コンピュータなどの伸ばす記号
- ・その他 …… %、\$、¥などの記号なども括弧の要領と同じです。

◆ローマ字入力の場合



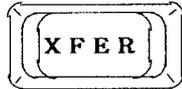
- ・括弧 …… シフトキーを押しながら
- ・かぎ括弧 …… そのまま入力
- ・句読点 …… そのまま入力
- ・空白 …… スペースキーを押す。
- ・長音記号 …… スーパー、コンピュータなどの伸ばす記号
- ・その他 …… %、\$、¥などの記号なども括弧の要領と同じです。

### (3)日本語入力、漢字変換に必要なキー操作

#### ①基本操作

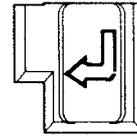
最初の段階ではこのページのキー操作で基本的な日本語入力ができます。

- ◆入力したひらがなを漢字に変換させる（変換キー）



- ◆変換した漢字を確定する

リターンキー（全文確定）



- ◆変換する単位を一つ右または左へ移動

左右矢印キー（部分中間確定）

右へ移動

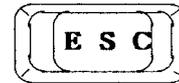
左へ移動



- ◆変換前の文字列の消去

（入力したばかりの文字）

エスケープキー

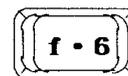


- ◆入力文字をひらがなに変換



押す毎にひらがな  
カタカナに切換え

- ◆入力文字を全角カタカナに変換



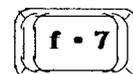
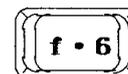
- ◆入力文字を半角文字に変換 ・アルファベットの場合

（B → B）



・カタカナの場合

（あ → ア）



- ◆変換後、変換前のかなに戻す



または



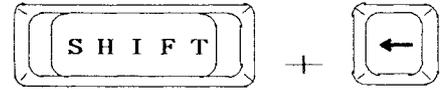
文字の削除については変換確定後、BSキーおよびDELキーで行います。

1回目の変換で希望の漢字が出てくるとは限りません。その場合には、キーを押します。その読みの漢字の候補が表示され、その中から希望の漢字を選択します。（同音異義語）

## ② 応用操作

基本操作だけでは、効率のよい日本語入力は難しいので慣れてきたらこのページのキー操作を取り入れるようにします。

◆ 変換途中で文節を短く区切りなおす



◆ 変換途中で文節を長く区切りなおす



◆ 漢字の次候補群を表示させる



◆ 漢字の前候補群を表示させる



◆ 記号を入力するモードにする  
(♀℃☆★◎※など)



画面下に記号の一覧表示

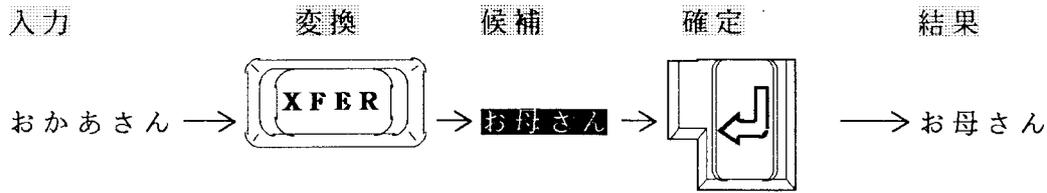
◆ 半角文字入力モードにする (確定作業不要)  
(未確定文字のない状態のみ)



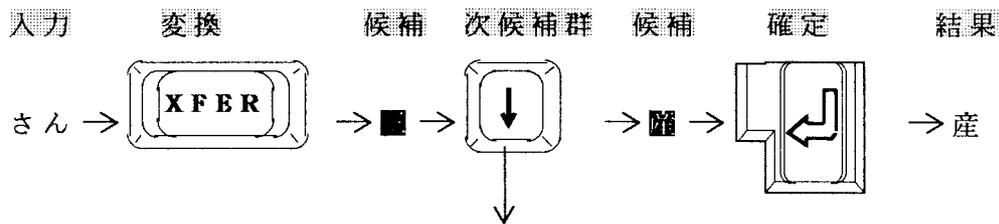
(半角 英数 の表示)

(4) 日本語入力操作例

◆ 入力したひらがなを漢字に変換し、確定させる基本操作



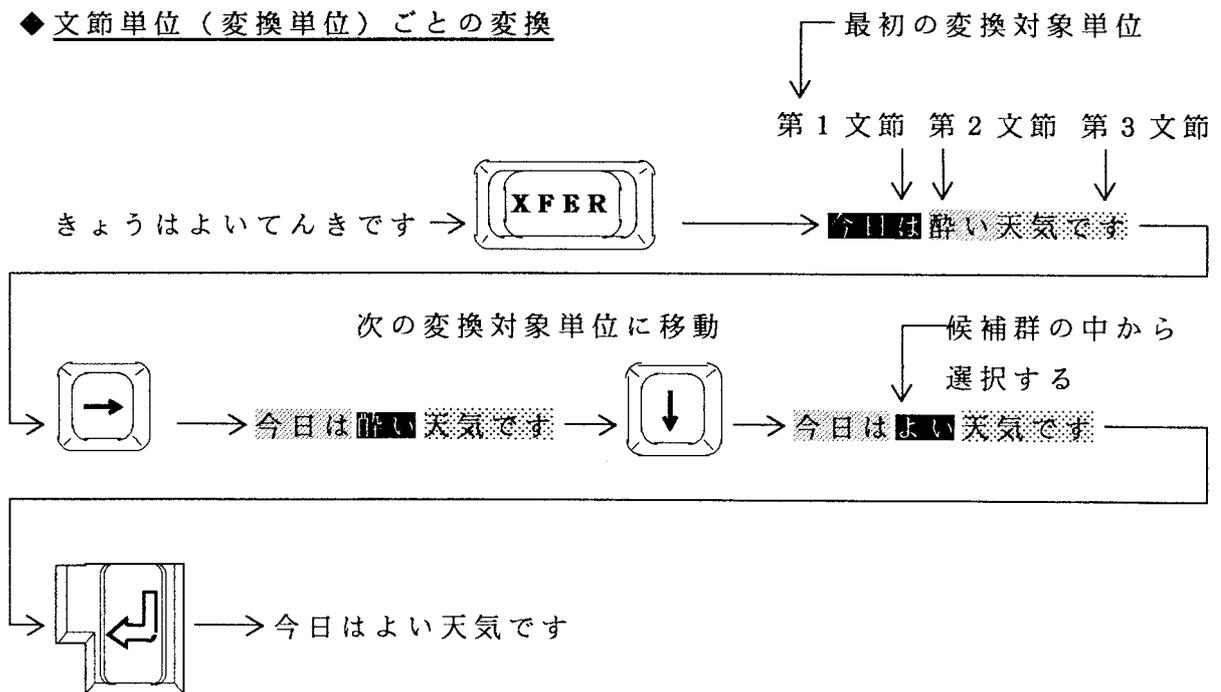
◆ 入力したひらがなを漢字に変換し、確定させる基本操作2（同音異義語）



- |      |      |      |      |      |      |      |      |      |
|------|------|------|------|------|------|------|------|------|
| 1. 三 | 2. 産 | 3. 参 | 4. 散 | 5. 算 | 6. 酸 | 7. 山 | 8. 讚 | 9. 賛 |
|------|------|------|------|------|------|------|------|------|

↓ キーを押すごとに候補が一つずつ進んで行きます。

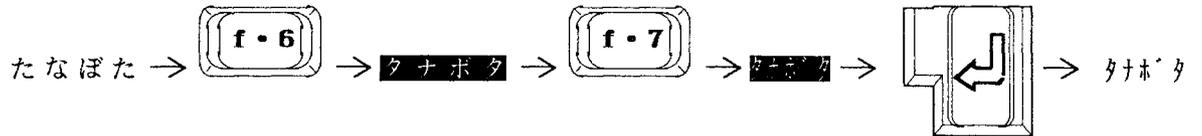
◆ 文節単位（変換単位）ごとの変換



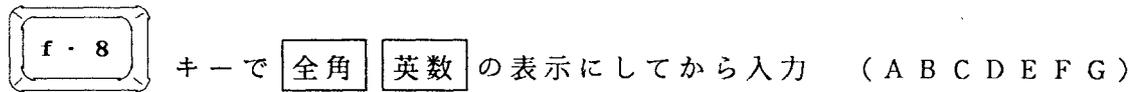
◆ 入力文字を全角カタカナに変換



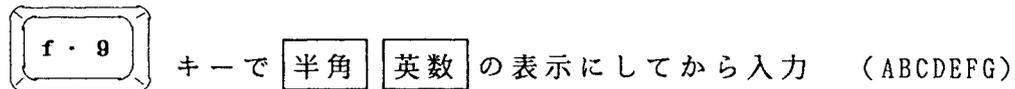
◆ 入力文字を半角カタカナに変換



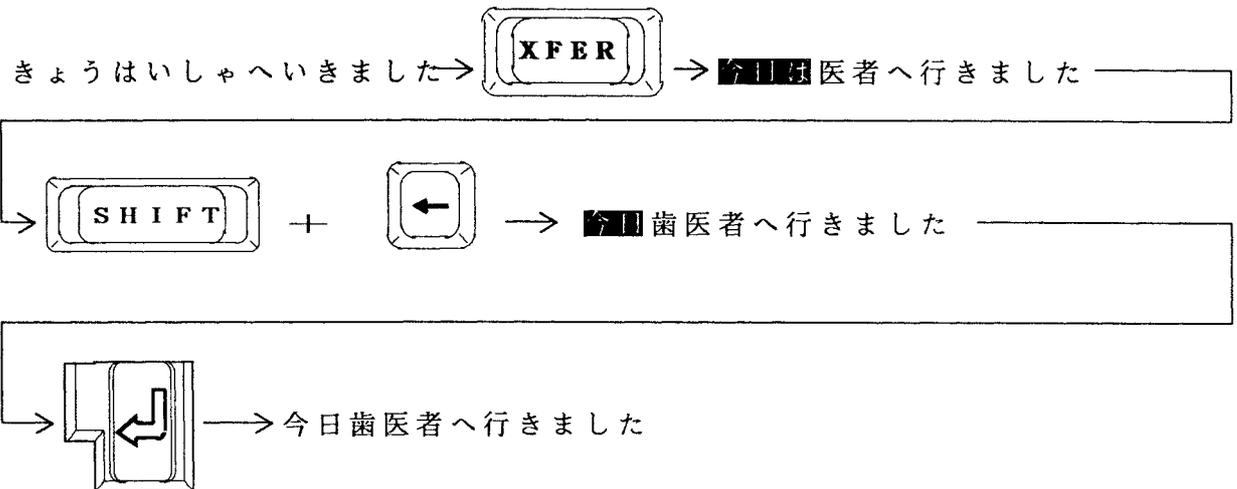
◆ 全角アルファベットを入力（確定作業不要）



◆ 半角アルファベットを入力（確定作業不要）



◆ 文節区切り直しの例



◆ 変換途中から入力時点の文字列へ戻す例（間違いの訂正など）

